

News & View

SAGA UNIVERSITY HOSPITAL

第13号

発行

佐賀大学医学部附属病院  
広報委員会

# 佐賀大学病院ニュース

〒849 8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号 TEL 0952 31 6511(代)

病院ホームページ <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/>



## 佐賀大学病院に 寄せて

佐賀県立病院 好生館 **おおき ひとし** 榑木 等 館長

### 佐賀大学医学部附属病院と機能分担した地域医療を

佐賀大学医学部30周年記念、誠におめでとございました。私は17年前に佐賀医科大学胸部外科から好生館に赴任しました。当時の佐賀医科大学は周囲に田畑が多く、樹木も未だ幼い時期でした。いまや医学部、附属病院を中心に町並みが、自然が趣き深く大きく育ちました。

佐賀大学におかれましては大学再編成、法人化を経験され、経営の効率化で日本をリード、本来の教育・研究そして臨床の充実と素晴らしいバランスを保たれ、成長株まっただ中の勢いを感じます。

好生館は自治体病院制度枠の中での病院事業で、忸怩たる思いも多々あります。本年度は好生館を拜命して150周年となり、歴史は古いのですが、老舗の宿命で歴史に埋没している点も否めません。今般、総務省より公立病院改革ガイドラインが策定され、好生館も改革プランを作成しなければなりません。また、遅ればせながら地方独立行政法人を目指しているところです。佐賀大学に対比しますと随分と遅れを取っていますが、卒前学生そして卒業後研修生に適正な研修施設たるように取り組んでいます。

医療制度が目覚ましく変化する時代にあって、一層、安全で良質な医療提供が望まれます。佐賀県の地域医療を支える事が好生館の使命です。各医療施設との医療連携そして佐賀大学医学部附属病院との機能分担を確認しながら、県民医療の確保を目指しています。

平成24年度を目標に嘉瀬地区に新好生館の移転を予定しています。佐賀県の地域医療のツインタワーの一翼を名実ともに担えることが最大目標です。

今後も、切磋琢磨した人事交流ができますように、好生館で働いてみたいと選択いただけるように努力する所存ですので、どうぞ宜しくお願いします。

## 佐賀大学病院救命 救急センター

# BLS 教育コース紹介

佐賀大学病院救命救急センター 本村 友一

病院内で、街中で、飛行機内で、貴方の家庭で...いつどこで心肺停止患者に遭遇するか予想できません。当院 ER にも年間約90人の心肺停止患者が搬入されていますがその予後には発症時現場に居合わせた人の適切な BLS (Basic Life Support ; 一次救命処置) の有無が大きく影響しています。適切な BLS が行われた方の一部が社会復帰を果たしています。2007年度は当院へ搬入された院外心肺停止患者さんのうち4人の方が社会復帰されました。あなたはとっさに適切な BLS ができますか。職種を問わず病院で勤務する者にとって BLS 習得は必須です。



佐賀大学救命救急センターでは、平成16年より院内職員を対象に BLS 教育コースを開催しています。心肺停止患者の CPR (cardiopulmonary resuscitation ; 心肺蘇生法) 及び AED (automated external defibrillator ; 自動体外式除細動器) の使用方法、窒息解除方法などについての教育コースです。原則毎月第3火曜日の18~21時に基礎実習棟1219号室で開催し今年度からは小児 BLS も取り扱っています。

AHA (American Heart Association ; アメリカ心臓協会) 公認コース等では受講・認定・登録に高額を要します。敷居を下げ BLS が広く普及するために院内職員は1000円の消耗品代のみで受講できるようにしています。今年度は当初より医師、看護師、検査技師、薬剤師、院内保育園保育士などから多数の応募・参加を頂いています。

コース運営は救命救急センター医師、看護師による好意によるもので多忙な日々の業務の合間に行っています。すでに受講していただいた方は都合の付くときのみでも運営に協力できれば幸いです。本コースが一人でも多くの人の救命と笑顔に寄与することを切に祈っています。

## 佐賀大学病院脳卒中診療チームの紹介

佐賀大学病院脳卒中診療チーム サブリーダー 薬師寺祐介

脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)を取り巻く社会環境はここ数年で劇的に変化しました。特に2005年10月から脳梗塞超急性期の治療として血栓溶解療法が認可されて以来、マスコミ等にも注目される疾患となりました。注目される理由の一つとして、この治療が多様なマンパワーと充実した設備・システムが揃っていないと継続的に行えず、病院全体の資質が問われる診療であることが挙げられます。



当院でもこの時代の到来を予測し、2004年から脳神経外科、神経内科、総合診療部、リハビリテーション部、救命救急センター、放射線科、当該看護部を中心とし、各科の壁を越えて地域の脳卒中診療に挑む横断的診療チーム(Stroke Care Team)が結成されました。毎週金曜日早朝に全体が集まって、新患紹介や各部署間の連絡の場を設けています。隔週でミニレクチャー等を行う脳卒中カンファレンスを開いており、開催はこれまでに100回となっています。



リーダーは、発起人であった阿部雅光先生(元当院脳神経外科准教授)から、本年度から松島俊夫教授に代わり、今後も更に時代・地域のニーズを先読みしながら発展していくチームでありたいと思っています。

## 病院長室から

宮崎 耕治

トリコロール(ニス)風景



プロヴァンスの風



既にお気づきの方も多いと思いますが、外来棟と病棟を結ぶ3階廊下部分に新しく2枚の絵画を展示致しました。3年前に逝去された萩原俊樹画伯の作品です。萩原弓子夫人より寄贈の申し出があり、「トリコロール(ニス)風景」と「プロヴァンスの風」の2枚を頂きました。

萩原俊樹画伯は1949年佐賀市に生まれ、中学2年の時に県展に最年少入選を果たし、佐賀西高校卒業後渡仏、フランス国立美術学校(エコール・ナショナル・デ・ポザール)に学びました。8年間にわたるフランス留学後、佐賀で活動を続けておられましたが、2005年9月に55歳の若さで逝去されました。

洗練された構図と瀟洒な色彩感覚が織りなす色調のハーモニーを特徴とした独特の画風にはファンも多く、2006年5月に開催された回顧展には全国からファンが駆けつけ、その早すぎる死を悼みました。今回、寄贈された2点は彼が最も得意とした南仏の光が描かれている代表作です。

明るく柔らかなこれらの作品が佐賀大学医学部附属病院に入院されている患者さんやお見舞いの方々、そして多忙な医療従事者の心を少しでも癒してくれることを念願しています。

# ご存知ですか? 入院生活をサポートするサービスいろいろ

## 病棟売店 (1F) ①

平日 / 8:00~19:00 土日祝 / 8:30~17:00  
各種医療用品、生活用品、食料品の販売のほか、以下のようなサービスがあります。

### 松葉杖の貸出しサービス

料金について

初めに保証料1本につき3,360円をお預かりします。  
使用期間によって差額を返金いたします。

- a 使用期間が21日未満の場合...使用料105円 (1日あたり)  
返金 = (保証料3,360円) - (使用日数 × 使用料105円)
- b 使用期間が21日~6ヶ月の場合...使用料一律2,100円  
返金 = (保証料3,360円) - (使用料2,100円)
- c 使用期間が半年以上の場合...お買い上げとなります。  
(1本につき3,360円)

### 付添用寝具の貸出し

付添いの方用に簡易ベッドと寝具一式(枕を除く)を貸出しています。

2週間まで 300円/日 3週間目から 200円/日

### 介護用品の斡旋販売

退院後等の療養生活に必要な物について斡旋販売を行っております。  
売店にカタログがありますので、お気軽にお尋ねください。

コピー・FAX・宅急便の受付

## 外来売店 (1F) ②

平日 / 8:30~13:30  
土日祝・休み  
飲料水・食料品、新聞、雑誌の販売

## クリーニング (1F) ③

平日 / 9:00~17:00  
土日祝・休み  
私服衣類のすべてを取り扱っております。

## 書籍・新聞コーナー (1F) ①

平日 / 8:00~18:00  
土日祝 / 8:30~16:00

## 食堂・喫茶 (2F) ④

「レストラン すだかけ」  
7:30~22:00(日祝~20:30)



## 理容室 ⑤

平日 / 8:30~16:00  
土日祝 / 休み  
詳細はお問い合わせください。  
0952-31-6511 (内線3498)

## 美容室 ⑥

平日 / 8:30~16:00  
土日祝 / 休み  
詳細はお問い合わせください。  
0952-31-9532

財団法人栄仁会が、上記サービスを提供しております。

## 就任のごあいさつ



胸部・心臓血管外科  
森田 茂樹

9月より伊藤翼教授の後任として九州医療センターより赴任いたしました。ご存じのとおり佐賀大学の胸部・心臓血管外科は日本の胸部外科を常にリードしてきた教室です。その教室を伊藤前教授より引き継ぐことになり責任の大きさをひしひしと感じています。

私自身は九州大学、九州医療センター在任中より一貫して成人の心臓外科、胸部大動脈手術を行ってまいりました。冠動脈バイパス術、弁膜症手術、胸部大動脈瘤手術あわせて約1,000例の手術を今までに執刀する機会を得ました。また米国に6年間留学していた経験を生かし、九州での最初の心臓移植を行いました。成人の心臓血管外科の手術に関してはあらゆる分野の手術に対応できるものと自負しております。

胸部・心臓血管外科は手術の良し悪しが直接命にかかわる分野であります。常に完璧な手術を行い患者さんに最良の治療を提供することを私の信念としてまいりました。最善の手術を行うことに関しては、アメリカも日本も患者さんは同じ、また九州だからといって関東や関西に手術のレベルでは決して負けることはないと思って今までやって参りました。佐賀でもその信念をより強固にして精進しようと考えています。どうか地域の皆様のご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

## 医療安全の取組みについて

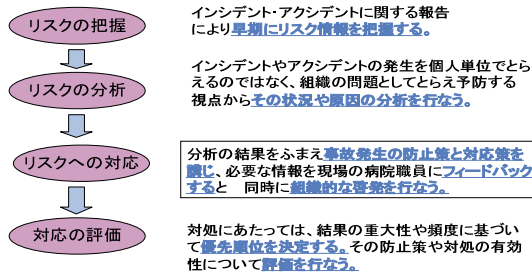
専任セーフティマネジャー 山田 みゆき

### 医療事故防止体制

事故のない安全な医療を提供していくためには、医療従事者一人ひとりが危機意識を持って日々の患者の診療にあたりると同時に、医療にかかる知識や技術を一定のレベル以上に保つことが不可欠であると考えています。

- 人間は誰でもエラーをする 「To error is human」
- ・エラーを誘発しない環境をつくる
- ・おこったエラーを吸収して事故を未然に防ぐ体制をつくる

#### リスクマネジメントの過程



9月10日(水) 医療安全管理室会議

### 医療安全管理室

病院全体の医療安全を確保するために、医療安全管理委員会のもとに病院内の状況を把握し、間違いを誘発しない環境や事故を未然に防ぐことのできるシステムを整備する役割を担っています。

最も重要な仕事は、院内の各部署から寄せられる報告に目を通し様々な安全対策を検討することです。患者さんに安心して医療を受けていただけるように医療安全への取り組みを積極的に行っています。

また、全職員への医療安全教育、院内研修の企画を実施しています。

院内の患者・家族の相談、苦情等にも早期から介入していくことを目指し、取り組んでいます。

